



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	35,819.56	89.08	0.25	0.40	17.03	30,606.48
NASDAQ	15,498.39	50.27	0.33	2.71	20.25	12,888.28
日経225	28,892.69	72.60	0.25	0.30	5.28	27,444.17
上海総合	3,547.34	28.92	0.82	-0.98	2.14	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,908.77	44.63	0.92	-1.03	-5.81	5,211.29
ハンセン	25,377.24	-178.49	-0.70	-2.87	-6.81	27,231.13
中国企業	8,961.73	-90.97	-1.00	-4.22	-16.55	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.9%安と5週ぶりに反落、上海総合指数は1.0%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.9%安と5週ぶりに反落した。週初こそ堅調なスタートとなったが、その後は10月29日まで4日続落と軟調に推移。中国政府が不動産税の試験導入を決めたことで不動産株が売られたほか、チャイナ・テレコムの米事業免許取り消しを受けて米中関係悪化への警戒感も広がり、27日には節目の26000ポイントを割り込んだ。本土市場では上海総合指数が1.0%安と反落。週初に約1カ月ぶりに節目の3600ポイント台に乗せたものの、その後は利益確定売りに押される展開となった。

今週の展望:香港市場は底堅い展開か、FOMC結果発表までは様子見ムードも

香港市場は底堅い展開か。NY市場で主要3指数の過去最高値更新は香港市場にとってもプラス材料といえるが、2-3日に米FOMCを控えて週前半は様子見姿勢が強まりそうだ。中国の10月の製造業PMIは市場予想を下回る弱い内容だったが、中国政府による景気対策への期待で弱気一辺倒とはなりにくい。中国恒大集団はひとまず当面のデフォルトを回避したものの、引き続き警戒感はなくすぶりそうだ。中国本土市場も底堅い展開か。弱い経済指標の発表も中国政府による景気対策期待が支えとなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 バドワイザーAPAC(01876)	21.45	11.14
2 中国蒙牛乳業(02319)	49.55	7.14
3 万洲国際(00288)	5.46	6.02
4 薬明生物技術(02269)	118.40	4.50
5 ホンコン・チャイナガス(00003)	12.10	3.77
6 九龍倉置業地産(01997)	43.90	3.54
7 長江ソフワ(01038)	46.90	3.53
8 電能実業(00006)	47.45	3.38
9 創科実業(00669)	160.10	2.76
10 信義光能(00968)	16.28	2.39

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 海底撈国際(06862)	21.80	-25.34
2 阿里健康(00241)	9.83	-21.98
3 中国平安保険(02318)	55.90	-10.77
4 碧桂園(02007)	7.31	-10.42
5 華潤置地(01109)	30.30	-10.22
6 安踏体育用品(02020)	121.60	-9.39
7 碧桂園服務(06098)	60.50	-8.05
8 中国海外発展(00688)	17.16	-7.84
9 李寧(02331)	86.50	-6.94
10 美团(03690)	269.60	-6.78

▼今週の主なイベント

- 11月2日(火)
- 【米国】FOMC(〜3日)
- 11月5日(金)
- 【米国】雇用統計(10月)
- 11月7日(日)
- 【中国】貿易統計(10月)

▼今週の期待材料

- ◆ダウ平均など主要3指数がそろって過去最高値更新とNY市場の好調続く、香港市場にとっても追い風に
- ◆中国恒大集団が10月29日猶予期限の米ドル建て利払いを実施、デフォルトをひとまず回避
- ◆A株企業の1-9月期決算が出揃う、比較可能な4361社の純利益は前年同期比25%増と2桁増益

▼今週の懸念材料

- ◆中国国家統計局が発表した10月の製造業PMIは49.2と前月から0.4ポイント低下、市場予想下回る
- ◆2-3日開催の米FOMCでテーパリング開始決定へ、利上げ時期の前倒し観測が高まる可能性も
- ◆中国当局による企業統制強化への警戒感が続く公算、規制当局がネット企業への管理強化の草案を発表

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 江西銅業(00358): 1-9月期決算は純利益2.9倍、7-9月期は86%増益
- ☆ 中国建設銀行(00939): 1-9月期決算は13%増益、7-9月期は16%増益
- ☆ レノボグループ(00992): 4日に9月中間決算を発表、市場予想は78%増益
- ☆ 無錫葉明康德新薬開発(02359): 1-9月期決算は50%増益、7-9月期は36%増益
- ☆ 保利協鑫能源(03800): 7カ月ぶりに取引再開、取引所の示した再開条件満たす
- ☆ 海通証券(06837): 1-9月期決算は39%増益、7-9月期は21%増益
- ◇ テンセント(00700): KADOKAWAに出資、株式約7%取得で3位株主に
- ★ 中国国際航空(00753): 1-9月期決算は103.2億元の赤字、赤字額が拡大
- ★ 安徽コンチセメント(00914): 7-9月期決算は14%減益、石炭価格高騰響く
- ★ BYD(01211): H株の第三者割当増資計画を発表、正味137.4億HKドル調達

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。